

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	会計室
部(局)長名	原田 勝

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 2	企業会計基準に準じた財務諸表の整備
--------	-------------------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	新公会計制度を活用し、的確な財務マネジメントを図るとともに、一層の説明責任を果たします。
---------	--

活動目標
新公会計システムにより、迅速かつ簡便に財務諸表を作成し、市民にわかりやすく説明します。
職員の財務諸表分析能力の向上を図ります。

具体的な取組実績
平成26年度財務諸表を、「各会計合算」、「会計別」、「事業別」で作成しました。事業別財務諸表では、事業に係る収入や費用、資産や負債の情報のみならず、事業の成果や分析結果を踏まえた課題を市民にわかりやすく説明するとともに、次年度以降の事務改善につなげられるようにしました。
事業所管課が作成した平成26年度事業別財務諸表について、新公会計制度に精通する公認会計士に講評を聞くといった研修を管理職職員対象に実施しました。また、新公会計実務担当者向けには、事前アンケートを行い、質問が多かった項目について、会計室職員が具体的な内容で解説する研修を行いました。



達成目標
新公会計制度による財務諸表を平成26年度決算の参考資料として議会に提出するとともに、ホームページ等でも広く市民に開示します。
平成29年度までに作成が義務付けられている総務省統一基準による財務諸表を、全国に先駆けて平成27年度中に作成します。

達成状況	達成度
平成26年度財務諸表を、「各会計合算」、「会計別」、「事業別」で作成し、決算の参考資料として議会に提出しました。また、同時にホームページですべての財務諸表の公表を行い、市報「すいた」11月号では、各会計合算財務諸表を掲載しました。	A 達成
総務省の統一的な基準による財務諸表を作成しました。また、ホームページでも統一的な基準による財務諸表を公表するとともに、市民の混乱を招かないように、吹田市会計基準と統一的な基準の違いについても説明しました。	A 達成

## 総合評価・総括

新公会計制度については、庁内の推進体制を維持し、庁内の情報共有化を図ることができたと考えています。また、新公会計制度に係る研修を通じて、職員の知識の向上、財務分析能力の向上、職員の意識改革の啓発につなげられたと考えます。事業所管課各々が初めて事業別財務諸表を作成し、分析内容や説明内容のレベルに若干の差も認められますが、概ね評価できる内容であったと考えています。今後も引き続き、職員の財務諸表分析能力の向上を図ります。